

<芸術学部>外国語系科目の履修について

外国語系科目は、英語とその他の外国語（第二外国語）で構成されており、本学で学べる第二外国語は、アラビア語、イタリア語、スペイン語、中国語、ドイツ語、ハングル、フランス語、ロシア語の8言語です（日本語の授業は留学生のみが対象となります）。

芸術学部の学生は、卒業までに外国語系科目の単位を6単位以上取得する必要があります。この6単位のうち、英語科目である「英語総合演習Ⅰ」、「英語総合演習Ⅱ」、「英語応用演習Ⅰ」、「英語応用演習Ⅱ」（各1単位）の計4単位は必修、すなわち、必ず履修しなければなりません。また、このほか英語科目である「英語応用演習Ⅲ」、「英語応用演習Ⅳ」、「英語総合演習Ⅲ」、「英語総合演習Ⅳ」（各1単位）及び英語以外の外国語系科目の中から2単位以上を履修してください。つまり、外国語系科目の6単位は英語科目のみで6単位とすることも出来ますし、英語科目4単位と第二外国語2単位とで6単位とすることも出来ます。英語のみを集中的に勉強するのか、あるいは第二外国語も履修して言語の幅を広げるのか、各自の進路も考慮しながら、よく考えて決めてください。下に基本的な履修パターンを2つ示します。

芸術学部の基本的な外国語系科目履修パターン①（英語科目のみを履修するパターン）

年次	学期	履修する授業科目（カッコ内は単位数）		合計単位
1年次	前期	英語総合演習Ⅰ（1）	英語応用演習Ⅰ（1）	計6単位
	後期	英語総合演習Ⅱ（1）	英語応用演習Ⅱ（1）	
2年次	前期	英語総合演習Ⅲ（1）または 英語応用演習Ⅲ（1）		
	後期	英語総合演習Ⅳ（1）または 英語応用演習Ⅳ（1）		

芸術学部の基本的な外国語系科目履修パターン②（第二外国語を履修するパターン）

年次	学期	履修する授業科目（カッコ内は単位数）			合計単位
1年次	前期	英語総合演習Ⅰ（1）	英語応用演習Ⅰ（1）	第二外国語Ⅰ（2）	計6単位
	後期	英語総合演習Ⅱ（1）	英語応用演習Ⅱ（1）		

<第二外国語履修に際して知っておくべきこと>

- 第二外国語の授業は週1回ではなく、週2回行われます。
- 1年次前期に学んだ第二外国語をより深く勉強したい人は、1年次後期にその言語のⅡ、2年次以降にその言語のⅢ、Ⅳを履修することを勧めます。
- 第二外国語Ⅲ、Ⅳは、担当教員が認めた場合は1年次生も履修が可能です。希望する学生は、担当教員に相談してください。
- 2つ以上の第二外国語を学びたい人は、2年次以降に別の第二外国語を履修することも可能です。

<芸術学部>外国語系科目の履修について

外国語系科目は、英語とその他の外国語（第二外国語）で構成されており、本学で学べる第二外国語は、アラビア語、イタリア語、スペイン語、中国語、ドイツ語、ハングル、フランス語、ロシア語の8言語です（日本語の授業は留学生のみが対象となります）。

芸術学部の学生は、卒業までに外国語系科目の単位を6単位以上取得する必要があります。この6単位のうち、英語科目である「CALL 英語集中Ⅰ」、「CALL 英語集中Ⅱ」、「英語応用演習Ⅰ」、「英語応用演習Ⅱ」（各1単位）の計4単位は必修、すなわち、必ず履修しなければなりません。また、このほか英語科目である「英語応用演習Ⅲ」、「英語応用演習Ⅳ」、「CALL 英語集中Ⅲ」、「CALL 英語集中Ⅳ」（各1単位）及び英語以外の外国語系科目の中から2単位以上を履修してください。つまり、外国語系科目の6単位は英語科目のみで6単位とすることも出来ますし、英語科目4単位と第二外国語2単位とで6単位とすることも出来ます。英語のみを集中的に勉強するのか、あるいは第二外国語も履修して言語の幅を広げるのか、各自の進路も考慮しながら、よく考えて決めてください。下に基本的な履修パターンを2つ示します。

芸術学部の基本的な外国語系科目履修パターン①（英語科目のみを履修するパターン）

年次	学期	履修する授業科目（カッコ内は単位数）		合計単位
1年次	前期	CALL 英語集中Ⅰ（1）	英語応用演習Ⅰ（1）	計6単位
	後期	CALL 英語集中Ⅱ（1）	英語応用演習Ⅱ（1）	
2年次	前期	CALL 英語集中Ⅲ（1）または 英語応用演習Ⅲ（1）		
	後期	CALL 英語集中Ⅳ（1）または 英語応用演習Ⅳ（1）		

芸術学部の基本的な外国語系科目履修パターン②（第二外国語を履修するパターン）

年次	学期	履修する授業科目（カッコ内は単位数）			合計単位
1年次	前期	CALL 英語集中Ⅰ（1）	英語応用演習Ⅰ（1）	第二外国語Ⅰ（2）	計6単位
	後期	CALL 英語集中Ⅱ（1）	英語応用演習Ⅱ（1）		

<第二外国語履修に際して知っておくべきこと>

- 第二外国語の授業は週1回ではなく、週2回行われます。
- 1年次前期に学んだ第二外国語をより深く勉強したい人は、1年次後期にその言語のⅡ、2年次以降にその言語のⅢ、Ⅳを履修することを勧めます。
- 第二外国語Ⅲ、Ⅳは、担当教員が認めた場合は1年次生も履修が可能です。希望する学生は、担当教員に相談してください。
- 2つ以上の第二外国語を学びたい人は、2年次以降に別の第二外国語を履修することも可能です。